

大型貨物の梱包ガイド

大型貨物やパレット貨物の海外輸送における最適な梱包

2026年版

DHL

適切な梱包

DHLのドア・ツー・ドアのエクスプレスネットワークは、世界をリードする時間指定可能な国際配送サービスを提供しています。本ネットワークは、封筒・小包、そして一部のパレット貨物やコンベアによる自動搬送ができない貨物にも対応できるように設計されています。

安全かつ確実な輸送を実現するため、DHL Expressでは重量およびサイズに一定の制限を設けています。これにより、当社の施設、標準化された車両および航空機において、すべての貨物が安全に取り扱われます。

重量物や大型貨物、パレット貨物は、エクスプレス輸送に適した方法で梱包する必要があります。本ガイドでは、発送者の皆様に求められる最低限の梱包要件と、大型・規格外貨物に関する具体的な梱包方法を紹介しています。

本ガイドの目的は、エクスプレス輸送における遵守すべき事項と注意点を明確にし、梱包品質の向上を図ることにあります。なお、本ガイドは個別の梱包要件に代わるものではありませんが、エクスプレス輸送における最低基準を明確化するものです。これらの基準により、他の貨物や設備への損傷、ならびに作業者の負傷防止につながります。

信頼性と安全性の高い輸送を実現するため、貨物は適切に梱包され、積み重ねにも耐えられる状態でのご準備を推奨します。

これらの基準を満たさない場合、DHLは貨物の輸送をお引き受けできないことがあります。

また、場合によっては追加の取扱手数料が発生することがあります。詳細は各国のDHLウェブサイトをご確認ください。

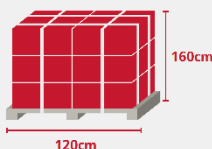
クイックガイド

時間がない場合は、まずこちらをご確認ください。適切な梱包の基本要件と、当社が設けているサイズ・重量制限をまとめています。



重量

- 1個あたり：
最大1000kg
- 総重量：
最大3000kg



パレット

- 幅・長さ：120cm以下
(標準パレットを推奨)
- 高さは160cm以下



サイズ制限

- 長さ300cm超は不可



梱包要件

- 箱・木箱・パレットで
確実に梱包
- 安全に積み重ね
可能であること

目次

貨物および出荷の制限について	3
適切な梱包の基本	4
パレットの使用方法	5
パレットへの積み方	6
貨物の保護方法	7
貨物の固定方法	8
品目別ガイダンス	9

貨物および出荷の制限について

DHLで採用している重量およびサイズの制限は、当社の航空機・トラックならびに各施設に共通する制限に基づいています。より大型・重量貨物については、標準的な配送車両に積載できない場合がありますため、事前の特別手配（予約）が必要となります。

サポートが必要な場合はDHLカスタマーサービスまでお問い合わせください。

注記： DHL Expressのネットワークで取り扱いが難しい大型・重量物については、DHL Global Forwardingが対応しております。詳しくは[dhl.com](https://www.dhl.com)をご覧ください。



適切な梱包の基本

大型貨物やパレット貨物は、トラック・航空機・自動仕分け設備から構成されるDHLの一貫したネットワークで安全に取り扱える状態である必要があります。

下記に、梱包時に考慮すべき4つの重要な取り扱い要件を示しています。



積み重ね可能

貨物は、上に他の荷物を積み重ねられる状態、または他の貨物を上に積むことができる状態で梱包してください。



フォークリフト対応

大型貨物はフォークリフトで取り扱われます。安全かつ損傷のない取り扱いのため、貨物はパレットまたはフォークリフトで移動可能な台座に積載してください。



傾き対策

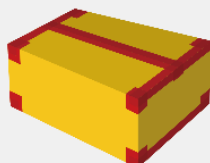
貨物は、パレット上および梱包内部の両方で、しっかり固定され、安定した状態になるようにしてください。輸送中(航空輸送時)には、貨物が傾く可能性があります。



衝撃・振動対策

機械による取り扱いの過程で、振動や軽微な衝撃が発生する場合があります。貨物が輸送時のこれらに耐えられるよう十分に保護された梱包を行ってください。

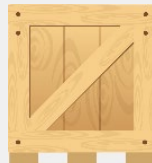
箱詰め・木枠梱包・パレット化



箱に入れる

25kg以下の軽量貨物は箱梱包が可能です。詳細は「DHL Express 梱包ガイド」をご参照ください。

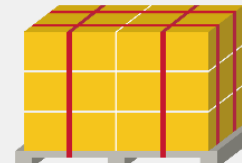
100cmを超える細長い形状や構造的に弱い段ボールは注意が必要です。必要に応じて補強するか、木枠梱包の使用をご検討ください。



木箱に収める

エンジンや産業機器などの大型貨物・重量貨物は木枠梱包を推奨します。

貨物は十分な強度を有する木材で完全に覆い、強度を高めるために木箱内部を対角線方向に補強してください。また、使用する木材は、事前に熱処理または薬剤処理が施されたものであることを確認してください。



パレットに載せる

大量の貨物や重い箱はパレットに載せ、本ガイドに記載の方法に従って確実に固定してください。

パレット上部は水平で均一な面を確保し、箱がパレットからはみ出さないようにしてください。

注意事項：70kgを超える貨物※は、フォークリフトで持ち上げ可能な木枠に入れるか、パレットに確実に固定してください。

25kgを超える貨物については、パレットや木枠を推奨します。箱で梱包する場合は、貨物の重量を十分に支えられる強度が必要です。重量物の取り扱いにはフォークリフトなどの特殊機材が必要となり、梱包が不適切な場合は集荷をお断りする可能性があります。

※国により要件が異なる場合があります。詳細は各国のDHLへお問い合わせください。

パレットの使用方法

このセクションでは、パレット貨物に関する DHL Express 推奨基準について説明します。
使用すべきパレットの種類、パレットの積み方、そして貨物を保護・固定する方法について解説します。

DHL では作業効率と安全性を高めるため、標準サイズのパレットをご使用いただくことを推奨しています。

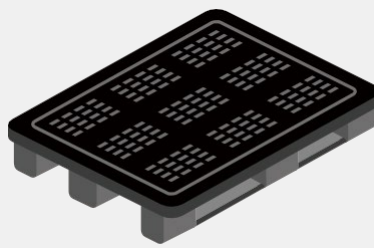
標準サイズかどうか不明な場合は、長さ・幅がいずれも 120cm 以下であるものが標準パレットに該当することをご確認ください。

適切なパレットの選び方



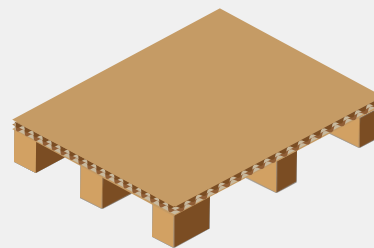
木製パレット

- 強度が高く、重量物に適している
- 再利用可能
- 広く流通しており、プラスチック製より低コスト
- 国際輸送の場合、使用する国・地域の基準に適合した木材処理(熱処理・燻蒸処理等)が施されていることを確認する
- 安定性向上のため、パレット底部に補強があることを確認する



プラスチックパレット

- 高い耐荷重性能と滑りにくい表面
- 軽量
- 湿気や腐食に強い
- 木製パレットと比べて高コスト



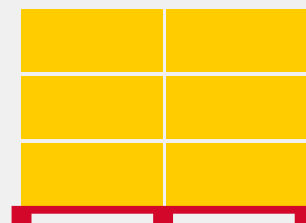
段ボールパレット

- 軽量
- 100%リサイクル可能
- 使い捨て(単回使用)
- 重量物や湿度の高い環境には不向き
- 低コスト

パレットへの積み方

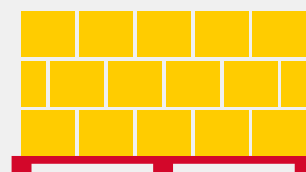
縦積み

- 箱をパレットに隙間なく積み上げる方法は、効率的な積載が可能で、圧縮による箱の変形や損傷を防ぐのに適しています。
- 箱は外周をそろえて積載し、必要に応じてストレッチフィルムで固定することで、輸送中の安定性を高めることができます。



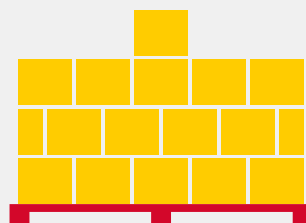
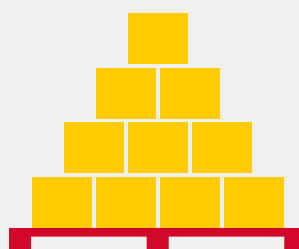
交互積み

- 箱の中身が硬く安定している場合、交互積みによってパレット全体の安定性が向上します。
- 一方で、中身が柔らかい場合は、交互積みによって圧縮強度が最大で50%低下し、貨物が損傷を受けやすくなる可能性があります。
- より高い積載強度を確保するため、箱は外周をそろえて積載してください。



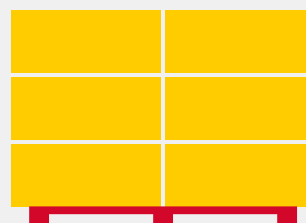
ピラミッド積み

- ピラミッド状に積まれたパレットは、上面が平らにならないため、貨物の損傷や配送遅延のリスクが高まります。
- 箱数が奇数で上面を平らにできない場合は、積み方を工夫するほか、空箱を使って上段を平らに整える、または余った箱を個別貨物として出荷することを検討してください。



はみ出し積み

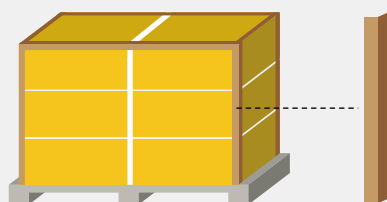
- 箱がパレットの端からはみ出す状態での積載は、通常の取り扱いにおいて貨物が損傷を受けやすくなるため、避けてください。
- また、このような積み方は、個々の箱の強度を30%以上低下させる可能性があります。



貨物の保護方法

輸送中の貨物損傷は、下記のようなさまざまな対策によって防ぐことができます。

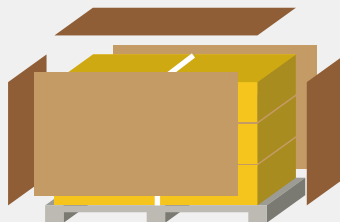
なお、ここで挙げる方法はすべてではなく、必要に応じて緩衝材の追加や木箱梱包など、他の保護手段を組み合わせで使用することも可能です。



エッジプロテクター

縦方向のエッジプロテクターは、輸送中に箱の角を保護するだけでなく、積載時の安定性向上にも効果があります。

さらに、より高い保護性能を確保するために、縦方向に加えて横方向のエッジ保護も併用することを推奨します。



当て板(紙ボード)

パレットの上面・底面・側面に配置した当て板は、保護層として機能します。上に積まれる荷重や、パレットのすのこ部分にかかる力を効果的に分散し、貨物の損傷を防ぐ役割を果たします。



固定

ケーブルドラムやエンジンなどの大型貨物を輸送する際は、木材または金属を用いてパレットに確実に固定してください。

適切に固定することで、輸送中に発生しやすい横方向の揺れや移動を防ぐことができ、安全性が大きく向上します。



貨物の固定方法

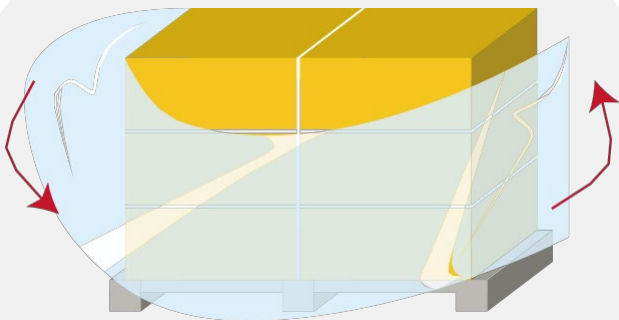
バンド固定とストレッチフィルムは、パレット上の貨物を固定するための主要な2つの方法です。

大型貨物やパレット貨物では必ず使用してください。

バンドには、スチール、ナイロン、ポリエステル(PET)、ポリプロピレンなどがあります。

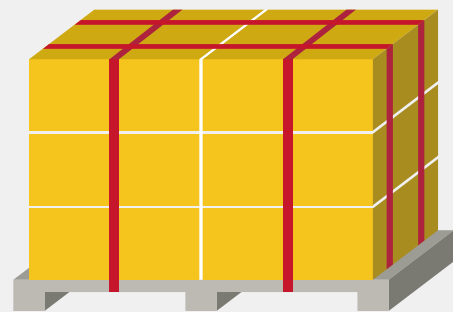
金属製バンドは重量のある固形物に適しており、ナイロンやPETは箱物や比較的軽量の貨物に適しています。

プラスチック製バンドを使用する場合は、十分な強度があり、確実に固定できるものを使用してください。



ストレッチフィルム

- ストレッチフィルムを使用する際は、まず 70ゲージのフィルムの端部をパレット、またはフォークリフト対応の台座に固定します。その後、フィルムを水平方向に回しながら、貨物全体にしっかりと巻き付けていきます。
- フィルムを水平方向に回しながら、貨物全体にしっかりと巻き付けていきます。
- 前の層と50%重なるようにしながら、上方向へ巻き上げていきます。
- 上部では、各角から対角線状にフィルムを交差させ、全面をしっかりと覆います。
- 最後に、フィルムを下方へ巻き下げながら、パレットの根元部分にしっかりと重ねて固定します。



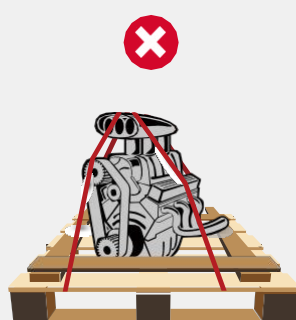
バンド固定(ストラッピング)

- 正しく使用すれば、バンド固定は貨物を確実に固定する有効な方法です。
- 手作業でバンドをかける場合は、最初のバンドをパレットの隙間に通し、貨物の上部を通して縦方向に固定します。
- その後、複数方向にバンドをかけ、少なくとも4本のバンドで貨物全体をしっかりと固定してください。
- 上段の箱の角にバンドが食い込まないように、横方向のエッジプロテクターを使用してください。
- 輸送中の環境的な影響から貨物を保護するため、ストレッチフィルムも併用してください。

品目別ガイダンス

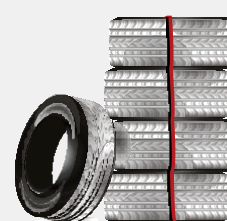
以下では、頻繁に輸送される大型・重量貨物について、品目別の梱包ガイダンスを紹介します。
本ガイダンスに従うことで、貨物を安全かつ確実に梱包し、エクスプレス輸送に適した状態にすることができます。

梱包が不適切な場合、他の貨物や設備、作業者に危険を及ぼす可能性があるため、
DHLは集荷または輸送処理をお断りすることがあります。



エンジンおよびその他の車両部品

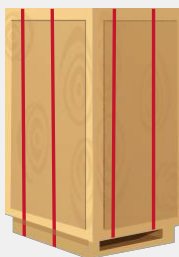
- エンジンやその他の車両部品は、木箱梱包するか、パレットに確実に固定したうえで、補強された段ボールおよびエッジプロテクターで全体を覆ってください。
- 輸送前に、エンジンや部品内の液体や燃料は全て抜いてください。
- 部品がパレットからはみ出した状態での積載は、取り扱い時の損傷リスクがあるため避けてください。パレットに収まらない場合は、木箱に入れるか、適切なサイズのフォークリフト対応の土台に載せてください。



自動車およびその他の車両用タイヤ

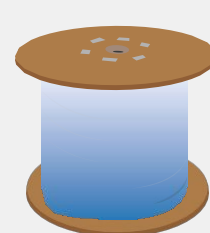
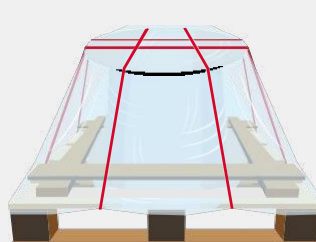
- 自動車およびその他の車両用タイヤは、標準サイズのパレットに載せ、ストレッチフィルムで固定したうえで、金属製または高強度のプラスチック製バンドでしっかり固定してください。
- タイヤや他の貨物を損傷から守るため、タイヤの上部には段ボール・木材・プラスチック製の保護板を設置してください。
- 専用のタイヤ用ボックスを使用する場合は、タイヤの重量に耐えられる十分な強度があり、角が丸くない平らな形状のものを使用してください。
- タイヤを単体（バラ）の状態で輸送することはできません。

品目別ガイドンス



産業機器

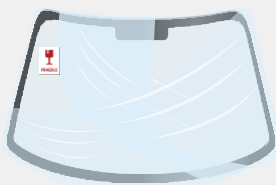
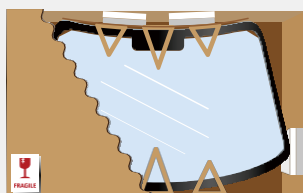
- 産業機器は木箱で梱包するか、パレットに確実に固定したうえで、補強された段ボールとエッジプロテクターで全体を保護してください。
- 輸送前に機器内部に残っている液体・燃料はすべて輩出してください。
- 重心が上部にある大型貨物は、輸送中に不安定になる恐れがあるため、できるだけ底面の広いパレットに積載してください。



ケーブルドラム（リール）

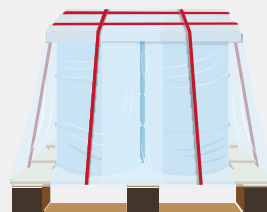
- ケーブルドラムは、単体（バラ）の状態での輸送には適していないため、必ずパレットに載せて梱包してください。
- 上に安全に積載できるよう、適切なサイズのパレットにドラムを横向きに載せてください。
- 重量のあるドラム（25kg超）は、木製のブロックを用いてパレットに固定してください。
- ドラムとブロックは、金属製または高強度のプラスチック製バンドを使用し、横方向2本・縦方向2本の計4本でしっかり固定してください。
- ケーブルが繊細な場合は、木箱梱包を行うか、段ボール製のカバーでドラム全体を保護することを推奨します。

品目別ガイドンス



板ガラス・車両用ガラス

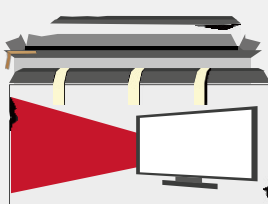
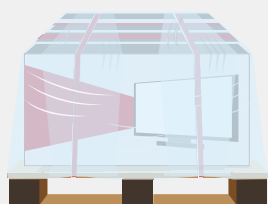
- 板ガラスや車両用パネルは、ねじれや圧力による損傷、他の貨物や搬送機器からの影響を防ぐため、必ず箱または木箱に入れて梱包してください。
- ガラスやパネルの縁は発泡材（スチロールパイプ）で保護し、全体を気泡緩衝材（バブルラップ）でしっかり覆ってください。
- 外装箱のサイズに適合した成形発泡材を使用し、ガラスまたはパネルの全周を均等に保護してください。
- その後、ガラスと成形発泡材を、二重構造の段ボール外箱に収納します。
- 発泡材により、箱内部でのガラスの動きを防ぎ、外箱の内壁から最低6cmの隙間を確保してください。
- 梱包後は、箱のすべての面「GLASS（ガラス）」の取扱注意ラベルを貼付してください。



ドラム缶

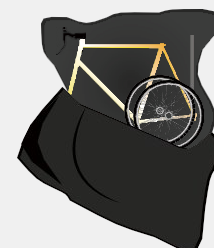
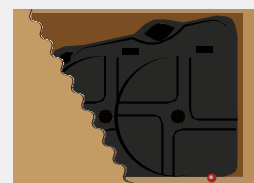
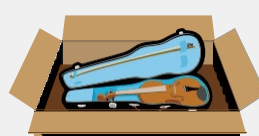
- ドラム缶は、板の隙間が2cm未満のプラスチック製または硬木製パレットに載せて輸送してください。
- 輸送中の移動や損傷を防ぐため、ドラム缶の上部およびドラム缶とパレットの間には、ファイバーボード（繊維板）を配置してください。
- ドラム缶は、金属製または高強度のプラスチック製バンドを最低2本使用してパレットに固定してください。また、輸送中の擦れによる外観損傷を防ぐため、ドラム缶とバンドの間にはコーナー保護材（ストラッププロテクター）を使用してください。
- 複数のドラム缶を輸送する場合は、パレットに固定する前にドラム缶同士をバンドでまとめてください。
- 受け付け可能なパレットは最大3枚まで、また貨物の総重量は1トンを超えないようにしてください。
- 少量の液体を輸送する場合は、[dhl.com](https://www.dhl.com)のDHL一般梱包ガイドをご参照ください。

品目別ガイド



大型電気製品

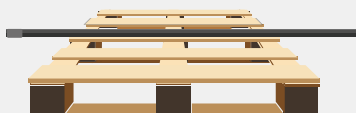
- 大型テレビの輸送には特に注意が必要です。メーカーの梱包は大量輸送を前提として設計されていることが多く、クソプレス輸送の要件を満たしていない場合があります。
- メーカー純正の梱包を使用する場合は、箱内部の空間を緩衝材でしっかり埋めてください。
- メーカー梱包が二重構造でない場合は、適切な二重構造の段ボール箱で外装梱包（オーバーパック）してください。
- 複数のテレビを輸送する場合は、必ずパレットに積載し、はみ出しがないよう注意してください。そのうえで、高強度のプラスチックバンドで固定し、ストレッチフィルムで巻いてください。さらに、角部分の上部に緩衝材を配置し、側面全体をボードで保護することを推奨します。



手荷物・スポーツ用品・楽器

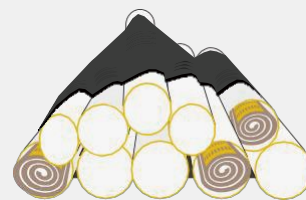
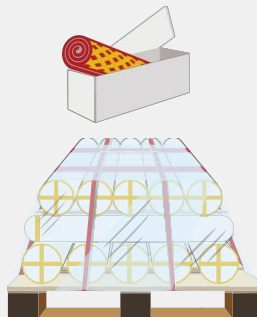
- 手荷物、スポーツ用品、楽器は、必ずハードケースに入れて発送してください。ソフトケースはエクスプレス輸送には適していません。
- 外装の擦れや傷を防ぐため、ハードケースは段ボール箱に入れて梱包してください。
- ハードケースがない場合は、二重構造の段ボール箱に入れ、大きめの気泡緩衝材（バブルラップ）で複数層しっかり包んでください。また、輸送中に動かないよう、箱内の空間はすべて緩衝材で埋めてください。
- 貨物全体が完全に梱包内に収まっていることを確認してください。箱から一部がはみ出している場合、損傷する可能性があります。
- DHLでは、スポーツ用品や楽器向けの専用梱包資材の提供は行っていない。

品目別ガイドンス



長尺チューブ・パイプ・ロール材

- 長さが300cmを超えるチューブやパイプは、お預かりできません。
- 長尺の角型段ボールは構造上変形しやすいため、十分な保護および補強を行ってください。
- 長い貨物を輸送する場合は、三角形の梱包材を使用するか、必要に応じてスパイラルチューブに収め、角型の外箱に梱包してください。外箱を使用することで、輸送中の転がりや損傷を防ぐことができます。
- 重量が25kgを超える長い貨物は、フォークリフト対応の木箱に入れて輸送してください。
- チューブがパレットからはみ出さないようにしてください。パレットまたは木箱は、貨物の全長をしっかりと覆う必要があります。
- パイプは金属製または高強度のプラスチック製バンドでパレットに固定し、輸送中に滑り落ちないように、パレットの端部にプラスチックまたは木製のブロックを設置してください。



カーペット・繊維ロール

- カーペットや布地は、必ず短辺方向に巻いてください。
- 曲がりを防ぐため、カーペットや布地は、十分な強度を有する芯管に巻き付けて補強してください。
- ロールの端部は損傷しやすいため、厚手の紙ボードやハードボードでしっかり保護することが重要です。
- ロールは厚手のビニール袋に入れるか、強度のあるプラスチックシートで複数回巻き、端部や継ぎ目をポリプロピレンテープまたは結束バンドでしっかり密閉してください。
- **25kg未満および／または長さ100cm未満の場合**
梱包したロールは、積み重ね可能な二重構造の段ボール箱に入れてください。封をする際は、一般梱包ガイドで示されているH貼り（Hテープ方式）に従ってください。
- **複数個口および／または25kg超の場合**
長さが100cmを超える、または重量が25kgを超える場合は、木箱に梱包するか、フォークリフト対応の台座への積載を検討してください。
- 複数のカーペットや布地ロールをまとめて束ねることは避けてください。専用の木箱に収納するか、個別に段ボールで梱包してください。
- カーペットや布地ロールはパレットに積載可能ですが、安定性を確保するため交互積みとし、バンド固定およびストレッチフィルムでしっかり固定してください。

dhl.com

2026年2月4日より適用

